

平成19年 2月

岩本明美 学位論文審査要旨

主 査 清 水 英 治

副主査 村 脇 義 和

同 池 口 正 英

主論文

乳癌のセンチネルリンパ節術中診断における迅速捺印細胞診の有用性

(著者：岩本明美、廣岡保明、尾崎佳三、吉岡志津江、遠藤財範、堅野国幸、池口正英)

平成19年1月 日本臨床細胞学会雑誌 46巻 12頁～16頁

審査結果の要旨

本研究は、乳癌症例においてセンチネルリンパ節を同定し、迅速組織診、迅速捺印細胞診、RT-PCRを行い各々の正診率を検討するとともに、アンケートを行うことにより山陰地方におけるセンチネルリンパ節術中迅速診断における問題点につき検討したものである。その結果、術中迅速組織診に比較し術中捺印細胞診のほうが正診率が高いことが判明した。また、山陰地方では術中迅速組織診を行うより、術中迅速捺印細胞診を行うことのほうが容易であることがわかった。本論文の内容は、乳癌センチネルリンパ節診断の分野で、捺印細胞診の有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。